

大学院等設置に係る設置計画履行状況報告書

1 調査対象大学院等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 新潟大学

(2) 大学名

新潟大学大学院医歯学総合研究科

(3) 大学院の位置

新潟県新潟市中央区学校町通2番町5274番地
(新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地)

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
学長	(ハセガワ アキラ) 長谷川 彰 (平成14年2月)	(ゲジョウ フミタク) 下條 文武 (平成20年2月)	学長交代による ⑳
研究科長	(ウチヤマ マコト) 内山 聖 (平成19年4月)	(マエダ タケヤス) 前田 健康 (平成20年2月)	研究科長交代による ⑳

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称 (学位)	認可時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医歯学総合研究科 口腔生命福祉学専攻 修士 (口腔保健福祉学)	2 年	6 人	12 人	基礎となる学部名等 歯学部口腔生命福祉学科

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	() 人	() 人	(若干人) 6	1.00 倍	
志願者数	()	()	(1) 6		
受験者数	()	()	(1) 6		
合格者数	()	()	(1) 6		
B 入学者数	()	()	(1) 6		
入学定員超過率 B/A	()	()	(-) 1.00		

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

対象年度 区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	備 考
1年次	[]	[]	[0] 6	
2年次	[]	[]	[]	
3年次	[]	[]	[]	
計	[]	[]	[0] 6	

(5) -④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成18年度	計 []	計 []	[] % %
	うち平成17年度入学者 人	うち平成17年度 人	
	うち平成18年度入学者 人	うち平成18年度 人	
	(主な退学理由)		
平成19年度	計 []	計 []	[] % %
	うち平成17年度入学者 人	うち平成17年度 人	
	うち平成18年度入学者 人	うち平成18年度 人	
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	
(主な退学理由)			
平成20年度	計 [0]	計 [0]	[0.0 %] 0.0 %
	うち平成17年度入学者 人	平成17年度 人	
	うち平成18年度入学者 人	平成18年度 人	
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	
うち平成20年度入学者 0人	平成20年度 6人		
(主な退学理由)			

2 授業科目の概要

<大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻>

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎必修科目	口腔保健福祉学研究論	1	4			4	1				
	生命医療科学総論	1	2			4	1				
	口腔保健医療福祉援助学総論	1	2			3	4				
	口腔機能管理支援学総論	1	2			2	1				
専門選択科目	口腔保健推進学領域系										
	一般口腔保健管理学A	1		2		1					
	一般口腔保健管理学B	1または2		2		1					7(1)設置計画変更事項等のとおり
	特殊口腔保健管理学A	1		2		1					
	特殊口腔保健管理学B	1または2		2		1					7(1)設置計画変更事項等のとおり
	摂食嚥下機能評価支援学A	1		2							
	摂食嚥下機能評価支援学B	1または2		2		1					7(1)設置計画変更事項等のとおり
	口腔保健医療政策学A	1		2			1				
	口腔保健医療政策学B	2		2			1				
口腔保健推進学領域特別研究	2		8		4	2					
口腔医療福祉援助学領域系	口腔医療福祉政策学A	1		2			1				
	口腔医療福祉政策学B	1		2			1				7(1)設置計画変更事項等のとおり
	地域口腔保健医療福祉ネットワーク論B	1または2		2			1				
	地域口腔保健医療福祉計画B	未開講 1または2		2			1				履修希望者がいなかったため㊟
	口腔医療福祉援助技術論A	1		2			1				
	口腔医療福祉援助技術論B	2		2		2					
	高齢者・障害者口腔援助学A	1		2			1				
	高齢者・障害者口腔援助学B	2		2			1				
	口腔医療福祉援助学領域特別研究	2		8		2	4				

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
4	18		22	4	18		22	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	地域口腔保健医療福祉ネットワーク論B	2	1または2	選択	履修希望者がいなかったため
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

履修希望者がいなかったことによる未開講であるが、次年度にも開講する予定であり問題はない。また、その旨学生には適宜周知するので、支障はないと判断する。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.04$$

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	ボート艇庫の土地の一部を譲渡したため㊟			
	校舎敷地	6,080,979㎡	0㎡	0㎡	6,080,979㎡				
	運動場用地	144,783㎡	0㎡	0㎡	144,783㎡				
	小 計	6,225,762㎡	0㎡	0㎡	6,225,762㎡				
	そ の 他	3,597㎡ 3,878㎡	0㎡	0㎡	3,597㎡ 3,878㎡				
	合 計	6,229,359㎡ 6,229,640㎡	0㎡	0㎡	6,229,359㎡ 6,229,640㎡				
(2) 校 舎	専 用	413,572㎡ 413,653㎡	0㎡	0㎡	413,572㎡ 413,653㎡	法学部・経済学部・実務法学研究科棟の改修のため㊟			
	(413,572㎡) (413,653㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(413,572㎡) (413,653㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 スペース及び使用区分見直しによる数値の修正㊟			
	138 140室	121 120室	611 632室	36室 (補助職員 -人)	6室 (補助職員 -人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻			10 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	[図書] 一部資料の廃棄による減少㊟ [電子ジャーナル] 価格上昇に伴う購読内容変更による減少㊟ [視聴覚資料] 資料の充実による増加㊟	
	医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻	74,052 [21,565] (73,438 [21,299]) (74,052 [21,565])	618 [330] (618 [330])	3,551 [3,014] (1,983 [1,362]) (3,551 [3,014])	341 (342) (341)	1,479 (1,479)	83 (83)		
	計	74,052 [21,565] (73,438 [21,299]) (74,052 [21,565])	618 [330] (618 [330])	3,551 [3,014] (1,983 [1,362]) (3,551 [3,014])	341 (342) (341)	1,479 (1,479)	83 (83)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 座席の充実による増加㊟			
	14,245㎡	1,072 1,059		1,073,000					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	6,246㎡	陸上競技場、第1第2野球場、サッカー・ラグビー場、テニスコート、バレーコート、プール、馬場、グラウンド							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当たり研究費等	- 千円	- 千円	図書購入費	- 千円	- 千円	- 千円	
		共同研究費等	- 千円	- 千円	設備購入費	- 千円	- 千円	- 千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		818 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		運営費交付金、寄附金 等						

4 既設大学等の状況

大学の名称	新潟大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員 人	編入学 定員 年次 人	収容 定員 人	学位又 は称号	定員 超過率 倍	開設 年度	所在地	
人文学部					学士 (文学)		昭和 55年度	新潟市西区五十嵐 2の町8050番地	
行動科学課程	4	75		300		1.04			
地域文化課程	4	100		400		1.04			
情報文化課程	4	50		200		1.08			
計		225	3年次 20	940		1.05			
教育学部					学士 (教育学) (人間科学) (生活環境科学) (健康スポーツ科 学) (芸術)		平成 20年度	新潟市西区五十嵐 2の町8050番地	
学校教員養成課程	4	220	0	220		1.05			
学習社会ネットワーク課程	4	45	0	45		1.04			
生活科学課程	4	15	0	15		1.13			
健康スポーツ科学課程	4	30	0	30		1.03			
芸術環境創造課程	4	60	0	60		1.08			
計		370	0	370		1.06			
教育人間科学部					学士 (教育学) (人間科学) (生活環境科学) (健康スポーツ科 学) (芸術)		平成 10年度	新潟市西区五十嵐 2の町8050番地	平成20年度から 学生募集停止
学校教育課程	4	-	-	540		-			
学習社会ネットワーク課程	4	-	-	210		-			
生活環境科学課程	4	-	-	120		-			
健康スポーツ科学課程	4	-	-	90		-			
芸術環境創造課程	4	-	-	180		-			
計				1,140					
法学部					学士 (法学)		昭和 55年度	新潟市西区五十嵐 2の町8050番地	平成16年度 から学生募 集停止
法学科	4	180	3年次 5	720		1.05			
【従前の学科】									
法学科(昼間コース)	-	-	-	-		-			
法学科(夜間主コース)	-	-	-	-		-			
法政コミュニケーション学科 (昼間コース)	-	-	-	-		-			
法政コミュニケーション学科 (夜間主コース)	-	-	-	-		-			
計		180	3年次 5	730		1.05			
経済学部					学士 (経済学)		昭和 55年度	新潟市西区五十嵐 2の町8050番地	
経済学科(昼間コース)	4	160	3年次 10	640		1.03			
経済学科(夜間主コース)	4	25	0	100		1.08			
経営学科(昼間コース)	4	105	3年次 5	420		1.06			
経営学科(夜間主コース)	4	15	0	60		1.13			
計		305	3年次 15	1,250		1.05			

既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
理学部					学士(理学)		昭和24年度	新潟市西区五十嵐2の町8050番地
数学科	4	35		140		1.09		
物理学科	4	45		180		1.08		
化学科	4	35		140		1.07		
生物学科	4	20		80		1.13		
地質科学科	4	25		100		1.06		
自然環境科学科	4	30		120		1.09		
計		190	3年次10	780		1.08		
医学部					学士(医学)(看護学)(保健学)		昭和24年度	新潟市中央区旭町通1番町757番地
医学科	6	105	2年次5	580		1.00		
保健学科	4	160	3年次20	640		1.01		
計		265	2,3年次25	1,280		1.01		
歯学部					学士(歯学)(口腔保健福祉学)		昭和40年度	新潟市中央区学校町2番町5274番地
歯学科	6	40	3年次5	250		1.00		
口腔生命福祉学科	4	20	3年次10	80		1.00		
計		60	3年次15	370		1.00		
工学部					学士(工学)		昭和24年度	新潟市西区五十嵐2の町8050番地
機械システム工学科	4	88		352		1.04		
電気電子工学科	4	73		292		1.07		
情報工学科	4	64		256		1.08		
福祉人間工学科	4	50		200		1.10		
化学システム工学科	4	78		312		1.04		
建設学科	4	78		312		1.04		
機能材料工学科	4	49		196		1.11		
計		480	3年次20	1,960		1.06		
農学部					学士(農学)		昭和24年度	新潟市西区五十嵐2の町8050番地
農業生産科学科	4	55		220		1.06		
応用生物化学科	4	50		200		1.10		
生産環境科学科	4	50		200		1.07		
計		155	3年次10	640		1.08		

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認 可 時</p> <p>(平成19年12月3日)</p>	<p>(その他意見)</p> <p>○設置の趣旨に鑑みて、資格免許を有しない者についても、実習内容を担保することが望ましい。(実習の見学等)</p>	<p>資格免許を有しない者についても、履修登録時に希望調査を実施し、希望に応じて医歯学総合病院等における実習の見学を行うこととした。ただし、平成19年度入学者については、すべて有資格者のため、該当者は無し。㊶</p>	
<p>設置計画履行状況 調 査 時</p> <p>(平成20年4月1日)</p>			

7 その他全般的事項

<大学院医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①授業科目の配当年次 1) 「一般口腔保健管理学B」 「特殊口腔保健管理学B」 2年次 「摂食嚥下機能評価支援学B」 2) 「口腔医療福祉政策学B」 2年次	①専攻の教育課程の基本概念である多様な学生ニーズ（資格・背景・進路希望等）に応じた科目履修の自由度および体系だった効果的な履修を一層確保するため、配当年次の変更を行う。 1) 歯学部口腔生命福祉学科の卒業生等、各当該科目の基本的な知識技術を身につけている学生については、1年次から医歯学総合病院等における実習を可能とし、学生ニーズに応じた科目履修の自由度をより確保する。 2) 関連する「口腔医療福祉政策学A」（1年次1学期開講）と連続的な履修を可能とし、より連続的かつ効果的な履修を可能とするため、配当年次を「1年次」（2学期）に変更する。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 新潟大学歯学部FD委員会 ※新潟大学歯学部FD委員会内規を添付（別紙1のとおり） b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年10回程度開催し、各回10人の委員が参加しているほか、ML（メーリングリスト）上でも活発な意見交換が行われている。 c 委員会の審議事項等 (1) 教員の教育、臨床及び研究等の能力開発に係る研修事業に関する事項 (2) 前号に掲げた研修事業の自己点検・自己評価に関する事項 (3) 教授会から諮問された事項 (4) その他教員の能力開発に関し必要な事項																
② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。 a 実施内容 ・ 教育能力向上のための教育ワークショップ ・ 学外から講師を招聘しFD講演会を開催 ・ 新任教員のための研修会 ・ 授業評価アンケート b 実施方法 ・ 教育ワークショップは、歯学部全教員を対象とし2日間で密度の高い内容を実施 ・ FD講演会は、学外から医・歯学教育領域および歯学以外の領域で活躍する講師を招き、定期的で開催 ・ 新任教員研修会（SD）は、年に1回または複数年に1回程度開催 ・ 授業評価アンケートは、半期に1回授業時にアンケートを実施し、分析・評価を行う c 開催状況（教員の参加状況含む） 教育ワークショップの開催状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施年月日</th> <th>テーマ</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成19年度</td> <td>H19.12.1~2</td> <td>カリキュラムプランニング</td> <td>30名</td> </tr> </tbody> </table> FD講演会及び新任教員研修会開催状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施年月日</th> <th>テーマ</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		実施年月日	テーマ	参加人数	平成19年度	H19.12.1~2	カリキュラムプランニング	30名		実施年月日	テーマ	参加人数				
	実施年月日	テーマ	参加人数													
平成19年度	H19.12.1~2	カリキュラムプランニング	30名													
	実施年月日	テーマ	参加人数													

平成19年度	H19. 5. 22	C B T 問題作成及びC B T 正式実施状況について	110名
	H19. 7. 11	歯学部・新任教員研修会	20名
	H19. 10. 31	コーティングのポイント	60名
	H20. 1. 21	ミシガン大学の歯学教育	90名
	H20. 3. 17	F D の開発とその推進	69名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

これらの開催により、歯学部・医歯学総合研究科の教員は教育についての理解を深め、意識向上、教育の質の向上ならびに授業改善を推進することができ、毎年、カリキュラム編成、シラバスの見直しを行っている。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙2のとおり。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・学年進行終了後1年以内（平成22年4月～平23年3月）に自己点検・評価を実施し、速やかに結果を公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、関係大学・関係機関に配布するとともに、ホームページ上で公表予定。

③ 認証評価を受ける計画

・大学として、平成19年度に大学評価・学位授与機構の機関別認証評価を受審済み。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成20年 6月 30日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.dent.niigata-u.ac.jp/master/secchi/index.html>)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成20年 6月 30日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.dent.niigata-u.ac.jp/master/secchi/index.html>)

新潟大学歯学部FD委員会内規

〔平成16年6月2日〕
〔歯内規第9号〕

(設置)

第1条 新潟大学歯学部（以下「歯学部」という。）の担当を命ぜられた教員及び医歯学総合病院（歯科領域に限る。以下「病院」という。）に所属する教員の教育、臨床、研究等の能力開発に関し審議し、推進を図るため、新潟大学歯学部教授会（以下「教授会」という。）のもとに 新潟大学歯学部FD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 教員の教育、臨床及び研究等の能力開発に係る研修事業に関する事項
- (2) 前号に掲げた研修事業の自己点検・自己評価に関する事項
- (3) 教授会から諮問された事項
- (4) その他教員の能力開発に関し必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、歯学部の担当を命ぜられた教員及び病院の専任の教員で、歯学部長が指名する10名以内の委員で組織する。

- 2 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 追加選出された委員の任期は、委員就任時の委員長の在任期間までとする。

(委員会)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員長は教授会の議を経て学部長が指名する者をもって充て、副委員長は委員長が指名する者をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

第5条 委員会は、原則として毎月1回開催する。ただし、必要がある場合は、その都度開催する。

第6条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(事務)

第8条 委員会の事務は、医歯学系事務部において処理する。

附 則

この内規は、平成16年6月2日から実施し、平成16年4月1日から適用する。

「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」

本専攻の人材養成等の目的については、新潟大学大学院医歯学総合研究科規程第2条の2第2項に「口腔生命福祉学専攻は、口腔を中心とした生命医療科学を基盤とし、保健医療福制度を含む実践的な社会福祉学領域との統合的・学際的研究を推進するとともに、これらの分野における高度かつ統合的な学識と技術力をもつ研究者及び高度専門職業人を養成する。」と規定している。

この専攻の目的に則し、意欲にあふれた優秀な学生を確保するため、限られた時間内であったが、広報に努め、入学者選抜（第一次募集および第2次募集）を実施したところ、一般選抜5人、社会人選抜1人の入学志願者があった。志望動機および研究計画の書面提出を求めるとともに、専攻での教育研究に必要な語学力を問う外国語（英語）試験および当該専門分野に関する知識および意欲を問う口述試験を実施し、十分な学識および意欲が認められるとして定員である6人の入学を認定した。これら6人の学生の専攻入学の目的としては、「医療機関・社会福祉施設等での口腔保健医療福祉の実務について、より高度な知識技術を身につけたい。」が4人（66.7%）、「将来、大学等の教育・研究者を目指す上で必要となる知識技術を身につけたい。」が2人（33.3%）であり、専攻の目的に即した学生が確保できたものと考えられる。

なお、初年度の入学者はすべて歯学部口腔生命福祉学科の卒業生となったが、複数の現場保健医療福祉従事者から入学の問い合わせを受けており、今回は時間的な制約等で出願・入学に結びつかなかったものの、次年度から専攻に関する広報に更に努めるとともに、入学者選抜の公募および試験の実施時期を初年度より早めることにより、こうした現場で保健医療福祉に従事している専門職等の入学も大いに期待できるものと考えられる。

専攻の教育に関しては、設置初年度であるものの、完成年度に至る2年次までの全ての「共通基礎必修科目」および「専門選択科目」の内容、担当教員、成績評価の方法等を明示したシラバスを作成し、各学生に配布することにより、1年次からのそれぞれの学生ニーズに応じた計画的な履修が可能となるよう配慮している。

また、現段階では正式な授業評価アンケート等は未実施であるが、「少人数で個別指導に近い形で授業が受けられるので、わかりやすく、勉強になる。」等の意見が聞かれており、学生からの評価も高い。今後も専攻の趣旨・目的の達成に向け、継続的に評価とそのフィードバックを行いながら専任教員一丸となって努力していく所存である。